自然再生実地研修(矢藤園農場)第3回

H.29 6/2(金)~6/4(日)



プログラムの内容

6/2(金)

- ・自然再生、安全講習 座学
- ・実地研修(田んぼ内の生物調査、田んぼの修復作業(水漏れ箇所) 日当たりを考慮した樹木の伐採(モッコク、ツバキ))
- ・交流会 沼津インターグランドホテル

$6/3(\pm)$

- ・実地研修 田んぼへの土入れ
- ・実地研修 沢での生物調査、石組作業
- ・実地研修 人工林、間伐後の観察
- ・交流会 矢藤園内での BBQ

6/4(日)

- ・実地研修 萌芽更新(2月に計58本の伐採を実施。萌芽更新の観察)
- ・実地研修 水位調整用配管作り、田植え作業

6/2(金)自然再生、安全講習 座学

矢藤園挨拶、養父先生挨拶、各自己紹介(矢藤園職員、緑化センター) 養父先生より、自然再生、安全講習についてスライドにて講義。



写真1.矢藤さん、養父先生ご挨拶



写真2.養父先生講義

6/2(金)実施研修

作業 田んぼ内の生物調査

作業 田んぼの修復作業(水漏れ箇所) 日当たりを考慮した樹木の伐採(モッコク、ツバキ)



写真3.モリアオガエルの産卵が見られた。



写真5.田んぼ内の生物調査2 写真7.田んぼの修復作業(モッコクの伐採)





写真4.田んぼ内の生物調査1



写真6.田んぼの修復作業

6/3 (土) 実地研修

田んぼへの土入れ(昨日の続き) 沢での生物調査、石組作業



写真8.田んぼへの土入れ(昨日の続き)



写真10. 沢での生物調査(昨年との比較)



写真9. 土を入れとんぼでならす

沢での生物調査 昨年行った調査との比較。 魚は増え、沢蟹は減っていた。 昨年は見られなかったミルヤ ンマのヤゴも確認できた。

上流河川の影響受け、小規模 河川の生態系は単純なものと なっている。

6/3 (土) 実地研修



石組作業(流れを止めたまり場を作る。)

- 1.全体の構図を考え、動かす石を決める
- 2. ラッカー等でマーキングを行い、ワイ
- ヤーで固定、ユンボで引き上げ動かした。
- 3.今回最も危険を伴う作業であり、声かけ等、作業者間の連携が大切である。
- 4.大きな石の固定後、その他の小さな石を組み、たまり場を作る。

写真11:ユンボを用いた大掛かりな作業





写真12、13:どの面を上にするかが大切であり、かませるように石を組む



写真14:3カ所のたまりが完成

6/3 (土) 実地研修

人工林、間伐後の観察



写真16:踏圧箇所を増やさぬ様気をつける

人工林、間伐後の確認 矢藤園内の人工林では混交林を図る。 枯れ木伐採、間伐を実施。また生物多 様性を考慮している。 大量の間伐は 森が荒れてしまうので注意する。



写真17:間伐後の植生を観察する

6/3 (土)交流会

矢藤園農場内でのBBQ (流しそうめんも)











6/4(日) 実地研修

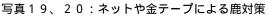
萌芽更新(2月に計58本の伐採を実施。萌芽更新の観察)



クヌギ・コナラの萌芽更新を観察する。それぞれの樹種にて萌芽の仕方に違いがあるか等。また周囲の下草は昨年秋に草刈りを実施している。現状は草の高さは現状10cm 程度、実生を生かす、生物を生かす役割も果たしている。

写真18:全体で30本程度の実生が確認できた







6/4(日) 実地研修



写真21:平澤さんによる作業説明



写真22、23:田んぼの水位調整用配管作り



写真:24田植え経験のない方がほとんどでした。

水位調整用配管作り、田植え作業 平澤さんにご指導いただき、水位調整用配 管作りと田植え作業を平行して実施。 田植えのコツは、ペンを持つように握り、 垂直に入れる。斜めに植えてしまうと、成 長が遅くなるので注意する。





写真25:認定証授与、お疲れさまでした。

養父先生の思い、同じ工程の工事でも環境によって異なる。ここでは、自然再生のベース となるものを学びそれぞれの仕事に生かしていかして欲しい。